

K S K Qどかどかつうしん No. 236

とくていひえいりかつどうほうじん じりつしえん
特定非営利活動法人いばらき自立支援センター



ぽぽんがぽん News



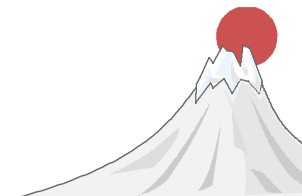
ねん がつごう
2009年 1月号



ねんとう あいさつ 年頭のご挨拶

しんねん あけましておめでとう
新年明けましておめでとうございます。

きゆうねんちゆう しえん たまわり こころ かんしゃもうしあげます
旧年中は、いろいろとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。



アメリカ発の世界的な金融危機がどれだけ大変なことなのか、地域に根ざした障がい者支援団体には、すぐに大きな影響を感じることはないのかもしれませんが、元々厳しい状況に置かれている障害当事者とそれを支援するものたちにとって、慢性的な介護人材不足が続いている一方で企業の人員削減等で失業者があふれるということに、複雑な思いを感じます。

障がい者の「自立支援」や「地域移行」の必要性が謳われ、法律や制度の名称としても使われてはいても、今でも障がいのある方々が地域で生活することは、とても難しい社会状況です。

振り返ればこの何年か、障がい当事者、関係者は、障害者自立支援法等への対応に翻弄されてきました。そして、いばらき自立支援センターにおいても、山あり谷ありでした。

それでも私たちが大切にしてきたことは、茨木の街を、障がいのある人を見捨てる街にしないこと、仕方なく茨木の街から出て行かなければならなくなった人達（遠くの入所施設にいる人や計画性のない長期入院措置を受けている人たち）が再び戻ってくるのできる街にすることです。誰もが大切にされる、そんな茨木の街づくりを目指して活動してきました。

これまで切り開いてきた地域生活支援システムを点から面へとひろげていくことが、これからの私たちの仕事であると痛感しています。そのためにも、今年こそは、今一度、基盤固めの年と改めて肝に銘じます。

最後に、いつも愛読いただいている皆様のご健康とご多幸をお祈りしますとともに、本年も引き続き、いばらき自立支援センターへの応援をよろしくお願い申し上げます。



とくていひえいりかつどうほうじん じりつしえん
特定非営利活動法人いばらき自立支援センター
じむきょくちやうだいいり おあたごろう
事務局 代理 太田 吾郎

もくじ

- 1. 年頭のご挨拶
- 2. ろくちゃんまちをゆく
作業所部門より
- 3. 茨木しょう会つうしん
- 4. 茨木しょう会つうしん
- 5. お米の宣伝、自主製品の通信販売
- 6. 寄付金のお礼とお願い
バザー用品のお礼とお願い



どかどかつうしんは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://popongapon.com/>



ろくちゃんまちをゆくNo.73

あけましておめでとうございませう。今年もまちに出かけて記事を書いていきます。皆さん、あきずに読んでください。新年の記事は、イッ大日ヨッソクセンターの身障者向け駐車場についてとりあげます。最近の公共・民間施設には身障者向け駐車場がよく設置されています。ヨッソクセンターでは、身障者向け駐車場に一般の人が駐車できないようにコーンや看板が立っています。これは、一般の方が駐めないための防止策です。しかし駐車する側としては、コーンや看板を動かすのは大変です。そのことは、以前テレビのニュースでも報道されていました。イッ大日ヨッソクセンターでは防止策として、あるシステムを導入していました。まず、サービスカウンター等で「専用パスカード」がしだしを申し込みます。申し込む場合は身障者手帳の提示が必要です。すると「専用パスカード」を借りることができます。「専用パスカード」には有効期限があり、更新をしなければならないようでした。実際に駐車するときは、入り口ゲート機の前にあるリーダー機に専用パスカードを通すとゲートがあがり駐車ができますが、スムーズに駐車がすることが出来ませんでした。駐車場は広くて、駐車スペースがおよそ15台分ありました。出口のところにもゲート機があり、一般の人が進入できないようになっていました。スムーズに駐車できることはうれしいことです。が、ヨッソクセンターは通常よりコストがかかっているようにみられました。そうすると資金を持っているヨッソクセンターだけになってしまうのもどうかと思います。また、人のゆとりがないため、マナーが良くない事も原因だとも思います。アメリカでは障害者差別禁止法が整備されています。そういった意味では、市の条例や法律を考えなければならないと感じました。

六 條 友 聡



駐車前にコーンや看板で防止



身障者向けの駐車場



リーダー機

専用パスカード



中津小学校4年生のみなさんと「中村公園そうじ」をしました！

～作業所部門より～



昨年夏に引き続き、4年生のみなさんと公園そうじをしました。

「どかどか」は、中津小学校区にあり、市民プールが目の前にあることから、小学生のみなさんも「どかどか」がある、ということは知ってもらっているようです。でも、「どかどか」って何？

ということはある外知られていなかったりもします。4年生のみなさんとはこれまでかみずき授業やろくちゃん(ろくちゃんまちをゆく！担当)の講義でも関わる機会があったのですが、今回は「どかどか」のメンバーさんと「いっしょに」作業できるように先生もグループ分けなど工夫

されてのそうじとなりました。目的は公園そうじをすること！ではなく、いっしょに作業をすることで障がいを持っている人もたくさんできることがあるし、得意苦手があるのはみなさんと同じ、ということを知って欲しいということです。

最後には、スタッフからみなさんに考えて欲しいこと。というお話をさせてもらいました。

みんなは学校を卒業しても作業所には就職しないのに、どうして「どかどか」のみんなは作業所にいるのだろう。障がいを持っていても、気持ちは皆と同じなんだよ。と話しました。今回は、校内にある「どかどか」のみんなとの出会い、という授業だったようですが、わざわざこういう機会を作らなくても、自然にみんなと出会い、知り合える社会ならいいのに・・・と思います。

そして、よくいろいろ学校から言われる交流授業・「交流」って何なんだろう。辞書によれば「お互いに行き来すること」「特に異なる・・・行き来」とありました。障がいを持っているみんなは何も他のみんなと異なっているわけではありません。少し手伝いやサポートが必要で、苦手なことがちょっと多かったりしますが、異なっている

ことだけは付け加えておきます。中津小学校の先生方、生徒さんたちとはこれをきっかけにとでも知り合いになれたのかな、と思います。お子様から話を聞かれたのか、保護者の方も牛乳パックを持ってきてくださったりと協力力がぐんぐん増えました。いい機会を作っていただきましてありがとうございます。これからもいろいろとよろしく願いいたします。(廣澤)



地域・校区で「障害児・者」の生活と



教育を保障しよう茨木市民の会

茨木しょう会つうしん



新年のご挨拶



あけましておめでとうございます

あたらしいとし むかえ みなさんげんき たのしいしょうがつ おくつ
新しい年を迎え、皆さん元気で楽しい正月を送っておられることと
おもっています。

しかしことし あたたかいひ またさむいひがあつたりとからだ ついていきづらいひ々が
つづいて、困っているのは私だけとは思いません。皆様もお体には充分に心配りをさ
れて、お互い健康を大事にしましょう。

しかし早いもので、ついこの前盛大に「つながりまつり」が終わって“ほっと”して
いる間もなく、楽しい忘年会を過ごすことができました。

らいねんど むけ くに しょうがいしやじりつしえんほう みなおし おおさかふ らいねんど よさん
来年度へ向けて、国は「障害者自立支援法」の見直しをはじめ、大阪府の来年度の予算、
いばらきし しょうがいふくしけいかく よさん たいし しゆじゆ うごき すずめ ようです
茨木市の障害福祉計画は予算などに対し、種々の動きを進めている様です。

「自立支援法」は今までの様な少しの手直しではなく、抜本的な見直しをするよう、我々
みんなで闘い続けて行きましょう。

なお おおさかふ いばらきし けいかく よさん ざいせいじようきよう きびしいとはいえ
尚、大阪府や茨木市へは計画、予算は財政状況は厳しいとは言え、「いるものはいる、
むだなことはなくせよ」と我々は言い続けて行く事が、「地域で当り前に生きて行く」
ために、必要な事であり改善になると考えます。

また あらためていばらき かい かんがえなおし げんざい とうじしや せいかつ ちゆうしん
又、改めて茨木しょう会を考え直してみると、現在いる当事者の生活が中心となり、
あたらしいとうじしや しんきかいいんにたいするとりくみ じゆうぶん はんせい いばらき
新しい当事者や新規会員に対する取り組みが十分ではなかったと反省し、茨木しょう
かい しゆつばつてん ほいく きよういくとう かだい あらためてちから いれととりくんでいきつつあ
会の出発点である保育、教育等の課題にも改めて力を入れて取り組んでいきつ
つあります。

あたらしいとし あたり かいいん みなさま いけん おもい ていあん ください
新しい年に当り、会員の皆様の意見や思いを「ドシドシ」と提案して下さい。

ほんねん きようりよく あつ すずめ いき
本年もみんなで協力し合って進めて行きましょう。



いばらき かい
茨木しょう会
かいちよう さかもと とおる
会長 坂本 達

「北摂連絡会」(略称)と学習会のこれまで



これまで茨木しょう会の定例会でも折にふれ報告してきましたが、
あらためてこの会の内容と活動状況をお知らせしておきます。

まず会の名称は「『障がい』のある子どもの教育を考える北摂連絡会」と言います。「障がい」のある子どもたちが「ともに生き、ともに学ぶ」教育のもとで育ち合えるように、世界的流れである「場」を分け

ないインクルーシブ教育を目指すこと。そのため学習会や情報交換で北摂地域のネットワークを広げ、地域の保育所・幼稚園・小・中学校に通い、普通高校への道を切り開く活動をするなどが目的です。先に立ち上がっていた「北河内連絡会」の存在に刺激され2007年9月30日、豊中、吹田、箕面、茨木、摂津、高槻等の関係者が集まって立ち上げられました。茨木しょう会からも教育担当が事務局に入っています。

北摂連絡会は2007年10月27日から2008年12月20日の第6回まで「北摂『障がい』のある子どもの高校進学を考える学習会」を開催してきました。2006年度から制度化された知的障がい生徒自立支援コースの実情、一般受験を目指した障がい当事者、これから目指す当事者、保護者の思いや体験談、一般受験における配慮事項と最近の入試状況、他地域における知的障がいのある生徒の高校入学の取り組み、などについての講演や意見交換が主な内容です。

茨木においても中学卒業を間近にしてこれからの進路をどうすればいいのか悩んでおられる障がい当事者の生徒、保護者の方々がおられることでしょうか。そのような方々に述べたような情報が十分届いているのかどうか心配な面があります。学習会に参加したある保護者の方の感想で「・・・中学3年生の男の子の親です。中学からの情報はほとんどない状況の中、今日の学習会は子どもの忘れ物を取りに学校に行った時、鍵を開けてくださった用務員の方が教えてくださいました。・・・」というのがありました。茨木しょう会では茨木市教職員組合の協力をもらうなど様々な形で中学在学中の障がいのある生徒、保護者にこのような学習会などの情報が届くよう努力していきたいと思います。

学習会はこれからも2～3ヶ月に1回のペースで知的障がいのある生徒の高校入学を切り開き拡げていくことをテーマにした様々な内容で開かれることと思います。茨木の障がい当事者、保護者をはじめ学校現場の教師、関係者市民の積極的な参加を心から願っています。

(教育担当 高原 疆次)

付録

「ぽかぽか」の美味しい減農薬米



とってもおいしいお米をお届けいたします。みなさんぜひ、お試し下さい！！

* 仕入れ・配達開始予定日

1月6日(火)、20日(火)、2月10日(火)、24日(火)はコシヒカリ

3月10日(火)、24日(火)はアキタコマチ

配達開始予定日の1週間前に発送しますので、それまでに注文・変更をお申し出下さい。

お申し込み、配達等お問い合わせ・

「ぽかぽか」お米の配達担当：山根 電話 & FAX 072-637-0115

「アルミ缶」あつめています！

回収ボックスは、「どかどか」「ぽかぽか」東和苑の公園にあります。

ゴミ袋3袋以上であれば回収に伺います。ご連絡下さい！

ちなみに、月曜日は主原・水尾方面、水曜日は東和苑花園方面に回収に出ています。

「どかどか」072-637-6882 (さとう)迄。



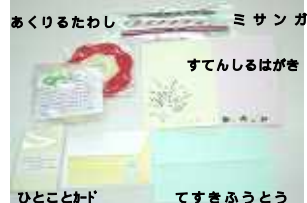
今月は211kgでした。

アルミ缶回収量結果報告！

11/11~12/8まで

どか・ぽか

通信販売



【ご注文・お支払い方法について】 メールでの注文も始めました

下記の表に記入の上、メール (poponga_doka@yahoo.co.jp)

FAXまたは郵送でお申し込み下さい。

商品と振り込み用紙をお送りします。

代金を1ヶ月以内にお振り込み下さい。

郵送代はお客さまご負担となります

「どかどか」「ぽかぽか」商品一覧表

注文数は「セット数」でお願いします。

品名	内容	価格	内容	注文数
1001	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 無地	
1002	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 テマーク付	
1003	てすきふうとう	1セット 5枚	¥200 定型内サイズ* 郵送可	
1004	ミニメッセージカード	1組	¥100 カードと封筒のセット	
1005	一筆箋(いっぴつせん)	1セット 10枚	¥150 無地	
1006	ひとつことカード	1セット 10枚	¥150 名刺サイズのカード	
1007	アクリルタワシ	1コ	¥50 手編み	
2001	すてんしるはがき	1セット 2枚	¥100 絵柄入り	
2003	ミサンガ	1本	¥150 手編み	

【ご注文書】 どかどか072-637-6882

(リガナ)
おなまえ

TEL - -
FAX - -

〒

お届け先ご住所

「センター寄付金」へのご協力ありがとうございました

11 / 11 ~ 12 / 8 まで

長谷川様 永石様 嘉田様 森井様 浅野様 植山様 大西様
吉田様 村上隆之様 桑田様 岸本陽子様 太田美雪様 平谷様
林様 新田様 鎮山様 小野様 村上様 高原様 岸本様



その他たくさんの皆様 ありがとうございます。

皆様からのご寄付がありましたら、とても助かります。

何卒皆様のご協力をお願いいたします。

郵便局 郵便振替口座番号 00950-5-314522

口座名 「いばらき自立支援センター ぽぽんがぼん」

通信欄に『センター寄付金』とおかきください



アルミ缶・バザー用品・牛乳パック等のご提供ありがとうございました

11 / 11 ~ 12 / 8 まで

丸山様 池尻様 太田様 峯松様 埴淵様 端様 三好様 泊様 土肥様 禾野様
中西様 萬谷様 小林様 杉本様 中津小学校の皆様 平田中学校の皆様 辺麦様
林様 田井様 坂本様

その他たくさんの皆様 ありがとうございます。

バザー用品提供お願いします

『衣類』子供・大人・新品も古着もOK(しみ、破れのないものをお願いします)

『日用品』雑貨・カバン・新品食器等(大型、電化製品はお受けできませんのでご了承ください)

(ご持参いただくと大変助かります)

「ほかほか」主原町13-3 TEL: 072-637-0115

「ふかふか」南安威2-6-20 TEL: 072-643-6898



編集者: 「障害者」の生活をひろげる場「ほかほか」 Tel/Fax (072) 637-6882

〒567-0842 茨木市五十鈴町7-29 シティコーポ 五十鈴 1F

発行人: 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜 2-10-13 緑橋グリーンハウス 1F

定価 200 円

